

# よもやま話

この編集にあたり、様々なお話を聞き、現地を見てまいりました。今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。ますます魅力ある山であると親しみが深まりました。その中から、興味深い話を紹介します。

## 浪漫1

- 三池山が神話の「天孫降臨」の高千穂の峰に当たす!?
- 三池山に「天照大神」の居宅もあった!?
- 三池山は「三毛の命の山陵古墳」ではないか!?
- 三池・大牟田は日本発祥の地かもしれない!?

なんと、「古事記」(日本書紀)の神話に「大牟田の地名が150ヶ所以上同じである。」

神話では、伊弉那岐神と伊弉那美神がオノコロ島で国と神を生むと記され、有名な「天照大神」(神武天皇(若三毛野命))を生んでいる。このオノコロ島は今の大牟田の鳥塚公園の丘であり、高天原は田隈で「おまひい!?!」神話の「三毛」の地は、大牟田の方のことである。

「天孫降臨」伝説は、「古事記」には「ニギハヤヒが三種の神器をたずさえ、「筑紫の日向の高千穂のくじふるに天降りましき」と述べられ、オノコロ島から見ると日が出る(日向)久重岳に天降りることになり、南関地方では三池山のことを今でも久重山と言われており、まさしく三池山が天孫降臨の高千穂の峰になる。」

詳しくは、大牟田の郷土研究家 廣木順作氏(鳥塚町居住)の著書「日本発祥の地・大牟田」(ここが日本発祥の地だ)記・紀は邪馬台国を記述している。大牟田市立図書館所蔵を讀んでみると、関連性を仮説されている。著書を読みお読みほど関連性が結びつき、邪馬台国もあつたように思われてきます。

市内には伊弉那岐神と伊弉那美神を神祭にする神社がたくさんある。三池宮や熊野神社(鳥塚町)など。



## 浪漫2

三池山(三池宮)には、中世時代には三池氏の山城があった!?

「三池山でも、武將たりによる乱世の戦いに巻き込まれており、その時代、山頂の城まで馬などで行き来し、戦いなど、どのようであったか想像してみてください。」

三池山城は、三池郡一帯を治める三池氏の戦時にこもる山城である。筑後南部の中世山城として最大のものである。

現在は、三池宮東側に大石の重なりが城壁の一端を忍ばせ、北側に古井戸、馬場跡が存在する。

大友勢がこの城を攻めたとき、高く鶴が舞い上がる如く呈したので舞鶴城といわれるようになったと伝わっている。

三池山は、多くのロマンの地であった。真実は、夢の中に浮かびあがるだろう。

- I城跡 II曲輪 III曲輪(曲輪くるわ)は、城の内外を土塁・石垣・堀などで区画した区域の名称
- B聖姫御・横堀 C堀切(防衛のための溝(堀))
- D堀切 IV右切り痕跡 E堀切 F・K堀切
- G聖姫御 H畝状空堀群



福岡県の中近世城跡跡4(筑後地域) 福岡県教育委員会発行より

## 三池野断層崖

大牟田市は、過去に三池炭田で有名になった市です。炭層を含む地層は古第三紀層(今から約5000万~3800万年前)とよばれ、この地層を地下から地上に押し上げたのが米の山断層です。米の山から南方に大牟田・高田線沿いに第1断層が走り、高取小学校あたりから北方へ第2断層が走っています。

三池野付近では景道に沿って西側に崖が観られます。これは米の山断層崖です。岩本橋から北へ旧三池街道を登って行くと焼石山に出ます。このあたりの地層は大牟田市内の水平に近い傾斜に比べ直立しています。これは断層によって西側が隆起し、東側は陥没し断崖になったものです。石炭の層を観察することができます。

三池野では阿蘇凝灰岩が観られ米の山断層で阿蘇からの流れが止まったようです。現在の米の山断層は活動を停止しており、活断層としては扱われていません。日本中であまり見ることができないところですよ。



# 森で楽しむ

いろいろな遊びや体験  
楽しみがいっぱい

自然に囲まれて過ごす、  
ゆっくりとした時間

## 自然体験

自然の中で  
身体を動かす



ツリー  
クライミング



カヌー



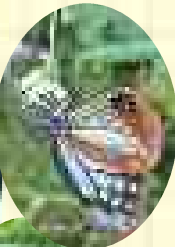
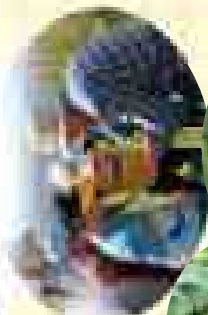
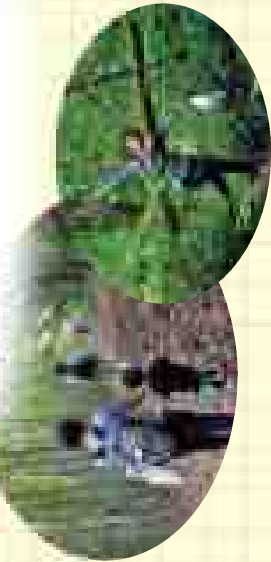
キャンプ

## 自然観察

森林動物や生き物の宝庫  
森林観察 観察会 ホタル観賞

## 健康づくり

森林に囲まれた山登りや山歩き  
自然の中で健康的な山登り、山歩き



# 自然楽校 ふわあいの森

ところ 櫛野 鳴川水源の森

連絡先 080-5273-4695(新巻)

## 毎月1回 親子体験教室 開催中

森の中で、子供や親子で、のびのびと  
いろいろな体験、遊びを楽しんでいます。  
参加された家族と一緒にお世話する  
ボランティアに興味がある方は連絡ください。

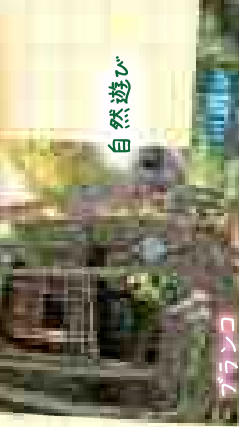
森の自然観察・整備  
森の自然観察教室

## 活動内容(予定)

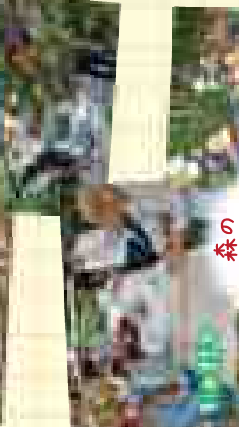
1月	森の自然観察、鳴川水源の森
2月	森の自然観察、鳴川水源の森
3月	森の自然観察、鳴川水源の森
4月	森の自然観察、鳴川水源の森
5月	森の自然観察、鳴川水源の森
6月	森の自然観察、鳴川水源の森
7月	森の自然観察、鳴川水源の森
8月	森の自然観察、鳴川水源の森
9月	森の自然観察、鳴川水源の森
10月	森の自然観察、鳴川水源の森
11月	森の自然観察、鳴川水源の森
12月	森の自然観察、鳴川水源の森



自然遊び



プランク



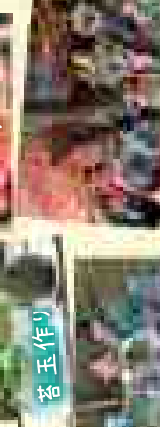
流しテウめん



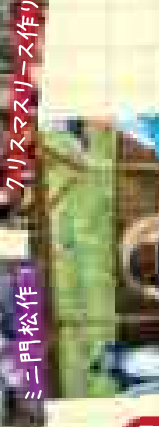
森のクッキング



森のクラフト体験



苔玉作り



ミニ門松作り



ピザ焼き

ところ 今山(普光寺南側高台)

申込先 090-2515-6390(吉田)

自然体験 ピザ焼きなど

5月~10月  
使用時は  
要申込

山頂を楽しむ

# 茶臼草原周辺

登山者の多くが山頂から、この茶臼草原まで足を延ばしてくる。「展望」は素晴らしく、大牟田、荒尾、長洲の街並み、有明海、小岱山、普賢岳、空気が澄んでいれば阿蘇の噴煙、天草の山々まで見渡せる。

お正月には、**初日の出**を見る人々が集まる

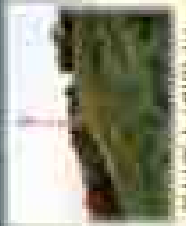
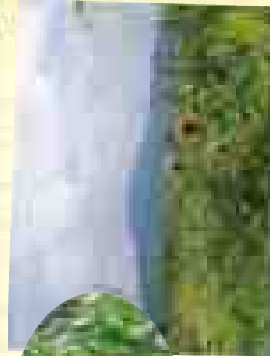
四季をとおして花が咲きあふれる「**花園**」、弁当開きや休憩する人が**山場所**

三池山は四つの山が連山となっています

一の山 今山岳 366m  
二池宮

三の山 381m  
四の山 381m  
茶臼

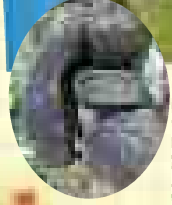
鳴川山 91.9m



見渡す展望が素晴らしい  
たくさんのお花が咲く**花園**

ススキ

茶臼塚山よりさらに進む「**鳴川山**」は、三池山一番の展望スポット裏山の森は、自然林が残り不思議と心安らぐ**パワースポット!**ぜひ、訪れてみてください。



コスモス園

三池山は神話の「天孫降臨」の  
高千穂の峰だった!  
詳しくは P8

# 歴史の里

## 普光寺周辺

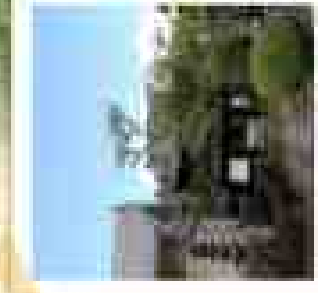
### 宇今山 普光寺

大牟田市で最も古い天台宗総本山比叡山延暦寺の直末寺です。弘仁14(823)年開基、開山は最澄の高弟慈覚大師円仁とされています。本堂は江戸時代の建立。中世の密教仏教に見られる構成で希少な重要な建物です。

中世三池氏の菩提寺。建立は1199年と言われ諸説あり不明。「あじさい寺」と呼ばれる境内「あじさい寺」と呼ばれる見事です。

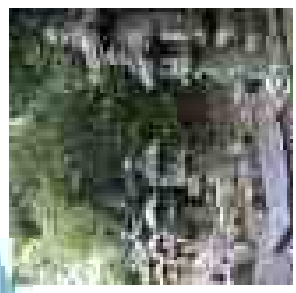


熊耳山 定林寺



金剛山 紹運寺

三池藩主立花氏の菩提寺として、二代藩主立花種次により元和7(1621)年に建立された曹洞宗の寺院です。寺の名前は、藩高祖高橋紹運から付けられています。

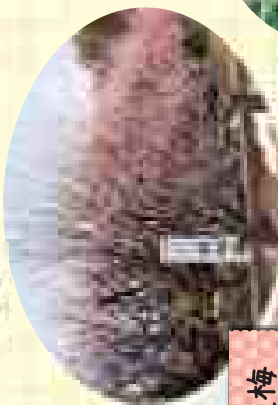


歴代三池藩当主墓地



臥龍梅

龍が隠れているような樹形から臥龍梅と呼ばれ、樹齢400〜800年、18株からなる八重咲の紅梅です。

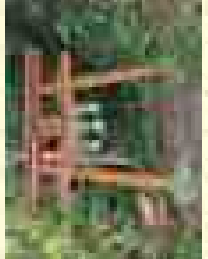


登山口

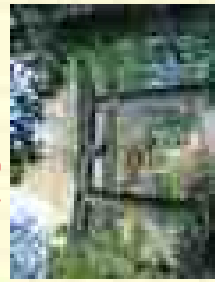
三の鳥居



長田宮の鳥居



二の鳥居



一の鳥居



三池宮の鳥居

### 鳥居めぐり

上宮に着くまでにいくつもの鳥居をめぐります

八大龍王宮の鳥居